

科目名	あそび技能演習 「手作り教材やおもちゃ製作に 取り組んでみる」		担当教員	深谷ベルタ		
			担当形態	単独		
テキスト	必要に応じて資料を配布しま す。	単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期	前期	
<p>講義概要</p> <p>■到達目標■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に対して現場で期待されている基礎技能を身につけ、実践できる。 ・自らの課題を設定し、完成させる。 <p>■授業のテーマ及び概要■</p> <p>本授業の展開は、大きく<前半>と<後半>に分けられる。 前半は、保育現場で必要とされることの内、実習開始までに準備できることをテーマとして、全員が以下の1)～6)のテーマに取り組むことになる。 <6回目からのテーマ及び概要></p> <p>本授業は、1年生の時に学んだ「児童文化」および「造形表現」にまたがるもので、昨年度から保育現場に提供する想定で手作りの保育教材やおもちゃを製作したり、保育者になる自分に必要となるものを製作したりしました。積み木、はめ込みパズル、抱っこ人形、紙芝居、折り紙図鑑、パネルシアター、ペープサート、パペット、各季節にあった室内装飾品などを作りますが、自分のものになる製作物の場合、材料費は原則として自己負担になります。</p> <p>■授業計画■</p> <p><前半(第1回～第5回)> (テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 手あそびおよび簡単なダンス 2) パネルシアター製作 3) 絵本概論・お話を体験する 4) ちょっとしたゲームやあそび 5) ゲームとダンス 6) 指導案の作成 <p><後半(第6回～第15回)></p> <ol style="list-style-type: none"> 第6回 製作物の決定、製作プラン作成および素材や道具の準備(簡単な製作物の場合2つ以上) 第7回 製作①(ドキュメンテーション作成)およびパネルシアターの発表(1) 第8回 製作②(ドキュメンテーション作成)およびパネルシアターの発表(2) 第9回 製作③ 第10回 製作④ 第11回 製作⑤ 第12回 製作⑥ 第13回 製作⑦ 第14回 仕上げおよび(保育現場への)納入 第15回 レポート作成および提出 <p>※原則として個別に製作活動に取り組むことになる。 ※製作に時間がかかるパネルシアターは保育現場で不足がちであるため、完成度が高く、良質な作品の現場への提供にご協力ください。</p> <p>■準備学習■</p> <p>演習授業であるため授業時間内の体験活動が基本となるが、円滑に活動するために素材や道具を各自で用意する必要があるだけでなく、授業時間内に終了しない課題の完成も各自で進めていただくことになる。また、授業終了後は、授業毎に出されるテーマや課題についてふりかえることなどが求められる。</p> <p>■評価方法■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み(課題カード、製作物や実技で確認) — 80% ・まとめのレポート — 20% 						
参考文献	取り組む課題により異なります。	特記事項	実費がかかります。 課題実施の進展を把握できるため「課題カード」を持ち、必ず各自で記入し、授業後担当教員に提出して下さい。「課題カード」が未提出の場合欠席扱いになります。			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修	幼	教職に関する科目			
		保	保育の内容・方法に関する科目			

科目名	あそび技能演習 「言葉とお話で遊ぼう」		担当教員	高森智子		
			担当形態	単独		
テキスト	適宜プリントを配布します。	単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期	前期	

講義概要

■到達目標■

- ・保育者に対して現場で期待されている基礎技能を身につけ、実践できる。
- ・幼児期における言葉の発達や習得の仕方を理解し、年齢に応じた適切な言葉あそびができる。
- ・日本語や声の響きを楽しみ、それを子どもにも伝えることができる。
- ・お話の世界を理解し、身体で表現することを通して他者に伝えることができる。

■授業のテーマ及び概要■

本授業の展開は、大きく<前半>と<後半>に分けられる。
前半は、保育現場で必要とされることの内、実習開始までに準備できることをテーマとして、全員が以下の1)～6)のテーマに取り組むことになる。

<6回目からのテーマ及び概要>

人と人とがコミュニケーションを行うにあたって、「言葉」を欠かすことはできません。その「言葉」は、文字で表されるものであるだけでなく、音声として発せられるものであったり、また表情やジェスチャーなどで示されるものであったりします。

そうした「言葉」を用いてどのようなあそびが展開できるか、実践を交えながら学んでいきます。

■授業計画■

<前半(第1回～第5回)>

(テーマ)

- 1) 手あそびおよび簡単なダンス
- 2) パネルシアター製作
- 3) 絵本概論・お話会を体験する
- 4) ちょっとしたゲームやあそび
- 5) ゲームとダンス
- 6) 指導案の作成

<後半(第6回～第15回)>

- 第6回 言葉とお話であそぼう① 「言葉あそび・読書へのアニメーション(導入・実践)」
- 第7回 言葉とお話であそぼう② 「言葉あそび・読書へのアニメーション(企画)」
- 第8回 言葉とお話であそぼう③ 「言葉あそび・読書へのアニメーション(発表・振り返り)」
- 第9回 言葉であそぼう① 「日本語の響きを楽しもう ～長台詞・オノマトペの絵本～」
- 第10回 言葉であそぼう② 「日本語の響きを楽しもう ～詩・短歌・俳句～」
- 第11回 言葉であそぼう③ 「カルタをつくってみよう」
- 第12回 言葉であそぼう④ 「カルタであそぼう」
- 第13回 お話であそぼう① 「無言劇を演じてみよう」
- 第14回 お話であそぼう② 「劇を作ってみよう」
- 第15回 お話であそぼう③ 「劇を演じてみよう」

■準備学習■

各テーマにおいて課題を出し、発表を行います。グループでの課題もあるので、各自自覚を持って取り組んでください。

■評価方法■

- ・授業への参加状況(課題への積極的な取り組み・発言) — 60%
- ・授業内容の理解(実技・発表・レポート等で確認) — 40%

参考文献	授業で適宜指示します。	特記事項	課題実施の進展を把握するため「課題カード」を持ち、必ず各自で記入し、授業後担当教員に提出して下さい。「課題カード」が未提出の場合、欠席扱いになります。
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修	幼	教職に関する科目
		保	保育の内容・方法に関する科目

科目名	あそび技能演習 「体を育てるあそび」		担当教員	益子美土里		
			担当形態	単独		
テキスト	特になし	単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期	前期	
<p>講義概要</p> <p>■到達目標■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に対して現場で期待されている基礎技能を身につけ、実践できる。 ・子どもの発達段階に合わせてあそびの組み立て方を理解し、計画、実施できる。 ・楽しくて安全性の高いあそびの組み立て方を理解し、計画、実施できる。 ・道具を工夫してあそびに取り入れる方法を理解し、計画、実施できる。 ・体を育てるあそびについて理解し、説明できる。 <p>■授業のテーマ及び概要■</p> <p>本授業の展開は、大きく＜前半＞と＜後半＞に分けられる。 前半は、保育現場で必要とされることの内、実習開始までに準備できることをテーマとして、全員が以下の1)～6)のテーマに取り組むことになる。 ＜6回目からのテーマ及び概要＞ 現在の生活環境はどんどん便利になり、私たちが体を動かす機会が減っています。そのため子ども達が発達段階に応じて習得するべき運動が十分経験できないまま成長し、その結果子ども達の運動能力や体力の低下が社会的にも問題になっています。 この授業では1年次の体育で行った「キッドビクス」をもう少し詳しく取り上げ、いかに子ども達に楽しく運動あそびをさせるか、さらにその運動あそびが子ども達の体を育てる（運動能力を刺激し基礎体力をつける）事につながることを学びます。また、伝承あそびや鬼ごっこ、また様々な道具を使ったあそびについても取り上げていきます。</p> <p>■授業計画■</p> <p>＜前半（第1回～第5回）＞ （テーマ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 手あそびおよび簡単なダンス 2) パネルシアター製作 3) 絵本概論・お話を体験する 4) ちょっとしたゲームやあそび 5) ゲームとダンス 6) 指導案の作成 <p>＜後半（第6回～第15回）＞</p> <p>第6回 ダンスとゲームのまとめ 第7回 キッドビクスについて 第8回 実習に向けて 第9回 実習 第10回 道具を使ったあそび 第11回 鬼ごっこ 第12回 伝承あそび 第13回 外あそび 第14回 これまでの振り返り・試験 第15回 まとめ</p> <p>■準備学習■ 授業で行ったことが確実に修得出来る様、復習する。</p> <p>■評価方法■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習への参加状況（積極的な準備及び実践内容）— 40% ・試験 — 40% ・レポート — 20% 						
参考文献	子どもがしっかり強くなるキッドビクス（ハートフィールド・アソシエイツ） もっとからだで遊ぼうね！（サンマーク） 子どものからだに危険がい！（日本標準） 遊び図鑑（福音館書店）		特記事項	課題実施の進展を把握するため「課題カード」を持ち、必ず各自で記入し、授業後担当教員に提出して下さい。「課題カード」が未提出の場合、欠席扱いになります。		
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修		幼	教職に関する科目		
			保	保育の内容・方法に関する科目		

科目名	あそび技能演習 「お話を楽しもう」		担当教員	山田典子		
			担当形態	単独		
テキスト	必要に応じて提示します。	単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期	前期	
<p>講義概要</p> <p>■到達目標■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に対して現場で期待されている基礎技能を身につけ、実践できる。 ・表現に関する実践技能を習得し、実施できる。 <p>■授業のテーマ及び概要■</p> <p>本授業の展開は、大きく<前半>と<後半>に分けられる。 前半は、保育現場で必要とされることの内、実習開始までに準備できることをテーマとして、全員が以下の1)～6)のテーマに取り組むことになる。 <6回目からのテーマ及び概要> 子ども達は絵本やお話が大好きです。大人が読んでくれる絵本や、語って聞かせてくれるお話の世界に身を置いて、登場人物(人とは限りません)になって思いをめぐらせます。実際に体験できないこともお話の中で体験できるのです。このような体験をすることで想像力が豊かになり、それが新しいものを生み出していく想像力へと繋がっていきます。 あなたは、絵本を読んでもらったり、お話を語ってもらう心地良さを体験したことがありますか。この授業を通して、お話を楽しむいろいろな方法を体験しましょう。 授業では、絵本やお話などをお互いに読んだり語ったりする中で、子どもになったつもりで絵本やお話を楽しみます。その中から、どのような読み方や語り方が心地良いのかを体験し、自分の読み方や語り方を学びましょう。(絵本の読み聞かせ、紙芝居を演じ、お話を語っていただきます。)</p> <p>■授業計画■</p> <p><前半(第1回～第5回)> (テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 手あそびおよび簡単なダンス 2) パネルシアター製作 3) 絵本概論・お話を体験する 4) ちょっとしたゲームやあそび 5) ゲームとダンス 6) 指導案の作成 <p><後半(第6回～第15回)></p> <p>第6回 絵本の読み聞かせ・紙芝居を演じ、お話の語りを聞く① 第7回 絵本の読み聞かせ・紙芝居を演じ、お話の語りを聞く② 第8回 絵本の読み聞かせ・紙芝居を演じ、お話の語りを聞く③ 第9回 絵本の読み聞かせ・紙芝居を演じ、お話の語りを聞く④ 第10回 絵本の読み聞かせをする お話の語りを聞く お話の語りを体験する① 第11回 絵本の読み聞かせをする お話の語りを聞く お話の語りを体験する② 第12回 学外演習の準備をする お話の語りを体験する 第13回 学外演習 第14回 学外演習の振り返りをする お話の語りを体験する 第15回 まとめ</p> <p>■準備学習■</p> <p>毎回出す課題について、事前演習すること。</p> <p>■評価方法■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話を1つ以上語る — 40% ・絵本40選の提出(14回まで提出) — 30% ・提出物への取り組み(内容、提出状況等) — 30% 						
参考文献	えほんのせかいこどものせかい(日本エディタースクール) お話のろうそく(東京子ども図書館)	特記事項	授業内の課題に積極的に参加することを望みます。課題実施の進展を把握するため「課題カード」を持ち、必ず各自で記入し、授業後担当教員に提出して下さい。「課題カード」が未提出の場合、欠席扱いになります。			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修	幼	教職に関する科目			
		保	保育の内容・方法に関する科目			

科目名	あそび技能演習 「音楽表現遊びの援助のあり方 (実習指導案)」		担当教員	阿部友理		
			担当形態	単独		
テキスト	こどものうた200 (チャイルド社) 幼稚園教育要領解説 (文部科学省)	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に対して現場で期待されている基礎技能を身につけ、実践できる。 ・幼児の表現遊びに関する実践技能を習得する。 ・保育指導案の作成について学び、実習指導案を2案以上作成できる。 ・音楽劇の創作、発表を行う中で幼児の表現遊びにおける援助のあり方や環境構成を学び、検討できる。 <p>■授業のテーマ及び概要■</p> <p>本授業の展開は、大きく<前半>と<後半>に分けられる。 前半は、保育現場で必要とされることの内、実習開始までに準備できることをテーマとして、全員が以下の1)～6)のテーマに取り組むことになる。 <6回目からのテーマ及び概要> 音楽表現あそびを中心に豊かな感性や表現力を養い、多様なイメージをもつ保育者を目指すことを目的とします。また、様々な音楽表現活動を体験するとともに、受講生自身が創造し、討論や個人発表をする場を多く設定します。 授業前半は、幼稚園実習における保育内容の検討や実習指導案作成をし、実習のシュミレーションをしています。後半は、音楽劇の創作過程において援助のあり方や環境構成を学びます。</p> <p>■授業計画■</p> <p><前半 (第1回～第5回) > (テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 手あそびおよび簡単なダンス 2) パネルシアター製作 3) 絵本概論・お話を体験する 4) ちょっとしたゲームやあそび 5) ゲームとダンス 6) 指導案の作成 <p><後半 (第6回～第15回) ></p> <p>第6回 音楽表現あそび (指導案作成における内容の検討)</p> <p>第7回 音楽表現あそび (指導案作成、発表、討論) ①</p> <p>第8回 音楽表現あそび (指導案作成、発表、討論) ②</p> <p>第9回 音楽表現あそび (指導案作成、発表、討論) ③</p> <p>第10回 幼稚園実習事後指導、音楽劇の創作①</p> <p>第11回 音楽劇の創作②</p> <p>第12回 音楽劇の創作③</p> <p>第13回 音楽劇の創作④</p> <p>第14回 音楽劇の評価、音楽表現あそびのまとめ</p> <p>第15回 音楽劇の発表</p> <p>■準備学習■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回課題カードに記載した課題を行った上で受講すること。 ・持ち物は前週に確認すること。 <p>■評価方法■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人発表、指導案作成 — 50% ・グループ討議や課題の積極的な取り組み、提出物 — 30% ・音楽劇創作、発表 — 20% 						
参考文献	続こどものうた200 (チャイルド社)	特記事項	持ち物：名札、今までに作成した指導案 (幼稚園・保育所) 音楽劇の発表を学園祭で行う予定です。(必須) 課題実施の進展を把握できるため「課題カード」を持ち、必ず各自で記入し、授業後担当教員に提出して下さい。「課題カード」が未提出の場合欠席扱いになります。			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修	幼	教職に関する科目			
		保	保育の内容・方法に関する科目			

科目名	あそび技能演習 「つくって動いて感じてあそぶ」		担当教員	荒松礼乃		
			担当形態	単独		
テキスト	特になし	単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期	前期	
<p>講義概要</p> <p>■到達目標■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に対して現場で期待されている基礎技能を身につけ、実践できる。 ・身の回りにある様々な素材を使ったあそびを知り、活用できる。 ・あそびの展開方法を身につけ、実施できる。 ・ひと流れの活動としてあそび（活動）のねらいをたて実践できる。 <p>■授業のテーマ及び概要■</p> <p>本授業の展開は、大きく<前半>と<後半>に分けられる。 前半は、保育現場で必要とされることの内、実習開始までに準備できることをテーマとして、全員が以下の1)～6)のテーマに取り組むことになる。 <6回目からのテーマ及び概要></p> <p>本授業では、保育の中で展開される主に体を使った様々なあそび（活動）について考えていく。そのあそびのねらいやおもしろさを理解するとともに、基本的な流れだけでなくバリエーション豊かにあそびを表現できるようにする。人前での発表、学び合いを繰り返し取り入れ、より実践的な学びを目指す。</p> <p>■授業計画■</p> <p><前半（第1回～第5回）> (テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 手あそびおよび簡単なダンス 2) パネルシアター製作 3) 絵本概論・お話会を体験する 4) ちょっとしたゲームやあそび 5) ゲームとダンス 6) 指導案の作成 <p><後半（第6回～第15回）></p> <p>第6回 流れを持たせた活動展開を考える 第7回 指導案と手あそび（授業内発表Ⅰ） 第8回 指導案とダンス（授業内発表Ⅱ） 第9回 指導案と制作あそび（授業内発表Ⅲ） 第10回 創作法研究①（導入）曲分析 第11回 創作法研究②（展開）隊形移動のバリエーション 第12回 創作法研究③（発展）アレンジと創作 第13回 創作法研究④（まとめ）発表 第14回 創作法研究⑤（発表の分析）VTR等を活用して 第15回 創造的なあそび（活動）の展開のために</p> <p>■準備学習■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎授業後にはレポートを提出すること。 ・授業内発表は事前練習を各自行ったうえで授業へ臨むこと。 <p>■評価方法■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み（実技で確認） — 30% ・授業内発表 — 40% ・レポート — 30% 						
参考文献	園で人気の手あそびわらべうた（PHP研究所） すぐ使える体ほぐしの運動136選（明治図書） かんたん手づくりおもちゃ（いかだ社）		特記事項	課題実施の進展を把握できるため「課題カード」を持ち、必ず各自で記入し、授業後担当教員に提出して下さい。「課題カード」が未提出の場合欠席扱いになります。		
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修		幼	教職に関する科目		
			保	保育の内容・方法に関する科目		